

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和7年7月12日(土)		
事業名	ちばアカデミア講座1		
趣 旨	県内外の国立研究機関・大学・文化施設・各種団体等と連携し、県民に最先端科学技術・経済・文化・教育・環境・健康・安全・食生活等の情報を提供することで、県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。		
会 場	さわやかちば県民プラザ 大研修室		
対 象	どなたでも		
申込方法	来所、電話または Web 申込		
募集定員	各60名	募集期間	令和7年4月22日から令和7年7月5日
参加者数	120名 対面50名、オンライン20名 サテライト50名 ※サテライト会場8箇所	参加費用	無料
講師 等	東京大学地震研究所 観測開発研究センター 教授 酒井 慎一 氏		
実施内容	内容:「最先端技術・データを活用した地震の理解」 日程:午後1時55分～午後2時 オリエンテーション 午後2時～午後3時55分 講演(休憩10分含) 午後3時55分～午後4時 アンケート記入、閉演  酒井講師  会場の様子 ※サテライト会場(8施設)・・・旭市民会館、君津市生涯学習交流センター、千葉市稲浜公民館、おゆみ野公民館、椎名公民館、千城台公民館、幕張公民館、佐倉市弥富公民館		
参加者アンケート	【満足度98%】 ○備えの大切さを痛感しました。予測に期待するよりもこれだけの情報を学習させていただいているから再度見直していきたいと感じた。 ○技術的な内容が主かと想像していたが、現実的な対策や対応の難しさなども含めて社会的課題が多く語られ、ある意味本質的に感じた。 ○専門的な調査分析に基づく知見を直接的かつ具体的に生かすことが様々な制約によ		

	り難しく、できることは人々の意識を高めることであると話されていたように思ったが、極めて現実的であるとともに専門家の苦悩であるように感じた。 ○「最先端技術・データを活用した」というテーマだったが、特に新しい情報が得られず残念だった。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨である「県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。」については、「地震」をテーマに地震研究の現在と災害について説明していただいたことにより、県民の地震や災害に対する意識や生活の中での取り組み方に寄与することができた。 ・オンライン、サテライト配信からの質問については Zoom のチャット欄を活用し、講師に回答いただけるよう配慮した。
	【課題・今後の方向性】 ・今回は質問が多く、すべての回答をその時間に得ることは不可能であると感じた。後日講師から回答いただける旨の連絡を講座前にできるようにしていく必要がある。